

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる高い資質、能力をもった人材を育成する教育課程編成、及び学習指導に学校全体で取り組む。	確かな学力を土台として発展的で高度な内容の授業実践を組織として充実させる。 新しい大学入試制度を視野に入れつつ本校にふさわしい新カリキュラムの検討を始める。	<ul style="list-style-type: none"> 教科の枠を越えた授業互見の雰囲気醸成及び湘南高校での授業実践に関する各教科での研修の実施。 進学重点型AL視点授業の研究の推進。 新しい大学入試制度の情報収集。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究発表会において、発表者個人の研究ではなく事前に教科として研究授業の内容を把握しアドバイスができたか。 校内職員対象進学重点型AL視点授業研究説明会に参加できたか。 新しい大学入試制度の情報を職員に提供できたか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 次世代リーダーとして、望ましい社会性、高い規範意識、心豊かで他者を思いやる人間性を育成する。 組織的で丁寧な個別の支援体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動等を通し、次世代リーダーとして社会貢献活動やボランティア活動の一層の推進を図る。 支援教育の視点を全職員が共有し、個別の支援のためにケース会議の充実を図り、課題の解決にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動等が自主的にできる範囲の社会貢献活動やボランティア活動を提示する。 管理職、担任、教育相談コーディネータとSCが連携し、個別の支援のために相談機関等を活用してケース会議で支援方針を立て個別支援シートに蓄積していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動等を通じた社会貢献活動やボランティア活動が昨年の3部活から増加したか。 ケース会議での取り組みが支援の必要な生徒の指導に生かせ、課題解決につながったか。
3	進路指導・支援	一人ひとりが将来を見据え、主体的に進路実現できる生徒を三年間通して育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 公立高校のフラッグシップであることを認識し、生徒が希望する難関大学進学を実現するため、最後まであきらめないよう粘り強く丁寧な指導を行う。 公立高校を牽引する役割としてふさわしい進路実績のさらなる向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上へ向け、進路希望や成績データを担任、教科担当者、部活動顧問などが共有できる組織づくりを進め、入学から卒業までを見通した進路指導体制を確立していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 模試の活用等により、学力の定点観測を行えたか。 生徒の進路希望や実力テストの情報を共有できたか。 集会指導や講演会、説明会を通して本人、保護者へ複数回の丁寧な情報発信を行ったか。 職員の授業研究会や入試問題研究会等への参加者が、昨年の20名から増加したか。
4	地域等との協働	地域との協働、連携による開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや学校説明会等の広報活動の内容をさらに充実させ、開かれた学校づくりを一層進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧者のニーズを踏まえた情報を速やかに提供できるようにHPを充実改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会、体育祭、文化祭の公開、小学生フェスティバルにおいて、効果的な広報活動が進められたか。

5	学校管理 学校運営	社会から信頼される学校づくりを推進し、事故、不祥事の防止を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、不祥事防止について不断の意識徹底を図り、根絶に努めるとともに、保護者、県民への丁寧な対応に努める。 ・生徒の命と健康にかかわる安全、安心に対する意識の向上を図り防災対策の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務で注意意識が薄れぬよう、定期的な事故不祥事防止会議を実施する。 ・緊急時における人員掌握体制及び保護者への連絡体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止会議を適正に実施し、不祥事を0件にすることができたか。 ・緊急時における人員掌握及び保護者への連絡体制を整えたか。
---	--------------	------------------------------------	---	---	--